

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス unico久留米		公表日	2026年3月30日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		教室内の段差はありませんが、各部屋に入る入口が狭く、車椅子のサイズによっては入らない可能性があります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		お子様たちが過ごす場所を自由に選べるようにしております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		月に最低一回は運営会議を実施し、全スタッフの視点で業務改善に努めています。目標設定を行った後は毎日達成できたかどうかを職員間で確認し、振り返りの時間を設けています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月に最低一回は運営会議を実施し、疑問点や支援の方向性など認識を合わせる機会を設けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者機関からの評価を受ける代わりに、本社職員を事業所に派遣して評価を行う内部監査制度を年2回実施しております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月に1回定期的な支援に関する研修を実施したり、新入社員、過去新卒に向けた研修を実施するなど、充実した教育体制を整えています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		個別支援計画を作成する際は都度、保護者様へのアセスメントや職員へのモニタリングを行い、お子様と保護者様のニーズを客観的に分析し、作成させていただいております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画作成時は必ず職員へのモニタリング、ケース会議を行い、実際に支援に関わる職員と作成する児童発達支援管理責任者との認識の乖離がないよう、共通理解とすり合わせ、検討を行っております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		月に2回ワークショップミーティングを行い、チームで考えております。子どもたちからのリクエストにもできるだけ応えられるよう努めております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子様にも意見を求めたり、職員自体も新しくやってみたいことなどを出し合っており、固定化しないよう努めております。また、お子様から日々の中でやりたいことの発信があった際にいつでもキャッチできるようにしています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団活動は日々の活動（ワークショップ）として毎日違うものを設定しており、個別での活動はお子様たち自身が遊びを選んだり、選ぶためのサポートを支援の中で行っており、適宜組み合わせさせて計画の作成を行っております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼にて支援内容を共有し、職員間で役割分担をしながら支援をおこなっております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		翌日の朝礼時に職員でMTGを行い、振り返り・気付いた点の共有を実施しております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月に一度、必ず保護者様とのアセスメント、モニタリング、ケース会議、計画見直し・変更を行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		お子様たちが自分で自分の困りごとを乗り越えていける「子どもが育つ療育」を目指して支援をしております。お子様たちがご自身で選んだり決定したりできるような関わりを意識し、日々の支援を行っております。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて管理者や児童発達管理責任者を通して教育機関や相談支援、その他福祉サービスや行政とも連携を取れるように努めております。	

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	保育園等への直接聞き取りは過去行っていませんが、保護者・相談支援事業所を経由しての情報提供等は常に行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	—	—	令和4年5月開所のため該当する利用者がおりません。今後障害福祉サービス事業所へ移行するケースがある場合には対応していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳を用いて当日の支援の内容やお子様たちの成長の結果などをお伝えしております。連絡帳のみではお伝えが難しい部分は、送迎時など直接保護者様とお会いできる機会や別途お電話にてお伝えさせていただくようにしております。その際に保護者様から事業所内だけではわからないお子さんの最新の様子などをお聞きしております。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		更新の際は必ず支援内容の説明をさせていただきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		面談等は行っていませんが、送迎時に保護者様からいただく相談などは助言させていただくことがあります。また、必要に応じてお電話などで保護者様方のお時間を取らせていただき、ゆっくりお話しを伺う機会をいただくこともあります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		年間の訓練研修スケジュールを決めており、実施漏れ等ないように必ずスケジュールに沿って実施ができるよう、それぞれ訓練研修を行っております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	対象児童がいないため現在は行っておりませんが、必要な際は必ず行っていきます。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎日の振り返りの中で、ヒヤリハットや配置に関する振り返りを行っており、安全管理や再発防止のためにどうするのがよいかを職員間で話し合っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス unico久留米		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 1日		~ 2026年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 1日		~ 2026年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様一人一人に合わせて寄り添いながら、ご本人が自分で考えて選んでいけることを大事にした支援	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様たちに何か困りごとが発生した際にはまずは傾聴を行い、寄り添うことでご本人が話しやすい環境を整えています。 ・安心感のもと、ご本人が自分自身の気持ちや考えに気が付き、選んでいけるようコーチングをベースとしたコミュニケーションを用いてサポートをしております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社内研修や毎日の振り返りなどを通して、療育について学びを深め、お子様たちに応じた関わり方の工夫や支援内容のさらなる充実を図ってまいります。
2	お子様一人一人が安心できる居場所作り	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様たち一人ひとりの違いやそれぞれの気持ちを大切にしながら、通っていただいている皆様に自分の居場所と思ってもらえるよう、日々支援を行っております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人様の特性や傾向と環境との間にどのような困りごとが生じているかを常に見立て、ご本人様の気持ちをまずはそのまま受け取りながら、ともに解消に向けて考えていけるような支援を行っております。
3	多様な体験や学びに繋がるワークショップ活動の企画や実践	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様たちが「やってみたい」「楽しそう」と主体的に思ってもらえるような活動を準備しております。 ・お子様たちのリクエストも聞き取り定期的にワークショップとして企画し、お子様たちがやったことないことにも挑戦できるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より多様な体験や学びに繋がるよう、活動の狙いを踏まえた振り返りや企画を都度行ってまいります。 ・楽しいだけでなく、その活動がお子様たちにとってどんな育ちに繋がったかを振り返ることで、今後さらによりよい活動に繋げていけるようにしてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関など外部で開かれるイベントや、周囲とのつながりを感じていただけるようなイベントの企画やご案内	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのご家庭と適宜面談やお電話、送迎時にお会いできた時などの際に相談支援を行っておりますが、関係機関や保護者様同士等、周囲のつながりを実感できるような連携、機会提供の検討が必要だと考えております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様や関係機関等と相談しながら、必要に応じて外部との連携やイベントの提案を行って参ります。
2	それぞれの活動に合わせた環境設定の工夫やスペースの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容やお子様たちの様子に応じて適宜過ごす場所を選択できるような室内環境や、場所の提案を行っておりますが、今後さらに活動に応じて充実した過ごし方を選べるような活動の企画や工夫が必要だと考えております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて教室外の活動場所（体育館、公園など）も検討しながら、お子様たちのニーズに合った環境を提供できるよう努めてまいります。 ・お子様たちがどこでなにをしてどんな風に過ごしたいのか、それが満たせる場所はどこかなど、お子様たちが自分自身で考え選んでいけるよう丁寧に提案、紹介しながら過ごしたい場所を選択できるコミュニケーションに努めてまいります。
3	保護者様がさらに安心してunicoをご利用いただけるための、より定期的なやりとりやコミュニケーション機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳にてお子様たちへの支援内容やその成果などのご報告、また、送迎時や定期的な面談、お電話等でお子様たちの育ちの共有を行ってはおりますが、さらに保護者の皆様にご安心していただけるよう、それぞれのご家庭とより丁寧なコミュニケーションを図り、安心してお子様たちを預けていただけるようなやりとりの工夫や質の向上が必要だと考えております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様に安心していただけるよう、より一層細やかな情報共有や日頃のコミュニケーションに努めてまいります。 ・お子様たちの育ちを常にキャッチし、保護者様にお伝えできるよう、日々の振り返りにて職員同士の連携強化を図ってまいります。